

令和5年度 地球温暖化対策の取組予定

団体名	事業の名称	実施月日	新規継続区分	実施場所	事業概要	
1	味の素株式会社	温室効果ガスの削減	通年 □ 新規 ■ 継続（平成 年より）	工場エリア	<ul style="list-style-type: none"> ・原動設備を中心にエネルギー高効率設備・機器の導入や優先的な運転を実施する。 ・エアコンのHFC保有設備・機器およびエアコン以外のHFC（代替フロン）保有設備・機器について、計画的に地球温暖化係数がより低い設備・機器への更新を実施する。 	
		技術開発支援・事業支援	通年 □ 新規 ■ 継続（平成 年より）	研究所エリア	<ul style="list-style-type: none"> ・「少ない資源でより豊かな価値を提供する技術」「海外工場への技術支援による環境負荷低減」を目標として設定し、技術開発（基礎研究含む）などを通じて環境への貢献を継続的に具現化する開発（研究）を推進する。 ・研究施設における照明器具のLEDへの100%交換を達成し、消費電力の低減に繋げる。 	
2	川崎信用金庫	クールビズ・ウォームビズの実施	クールビズ 5/1～10/31 ウォームビズ 12/1～3/31	□ 新規 ■ 継続（平成20年より）	本部・営業店	冷房設定温度を上げ、職員はノーネクタイ等定められた範囲内での軽装で執務します。暖房設定温度を下げ、職員はインナーウェアやセーター、ベスト等を着用し体感温度を上げる工夫をします。
		カーボンゼロの取組みを支援する預金商品の取扱い	通年	□ 新規 ■ 継続（令和3年より）	営業店	脱炭素への取組みや環境配慮に向けた意識の醸成を意図した定期預金商品の取扱いを継続します。今年度も年度末の契約実績に応じた金額を緑化基金に寄附する予定です。
		カーボンゼロの取組みを支援する融資商品の取扱い	通年	□ 新規 ■ 継続（令和3年より）	営業店	環境配慮に取り組んでいる企業を対象とした融資商品、環境にやさしい自動車の購入や住宅の購入・建築などにご利用いただける個人向け融資商品の取り扱いを継続します。今年度は、新商品としてエネルギー消費性能の向上に資する設備に対して借入部分が金利0%となる住宅ローンの発売を開始しています。また、太陽光パネル設置を支援する新商品も企画しています。
		カーボンゼロの取組みへの周知・啓発を目的とした広告物の作成	通年	□ 新規 ■ 継続（令和3年より）	営業店	引続きカーボンゼロについて説明するスタンドポップや動画、パンフレットを各営業店で使用することにより、お客さまがカーボンゼロについて興味を持っていただくきっかけとします。
		太陽光発電システム導入	通年	□ 新規 ■ 継続（令和3年より）	営業店	新たに2～7店舗の営業店屋上に太陽光パネルを設置。自家消費することで再エネ利用の向上を目指します。
		災害用備蓄品寄贈による食品ロスの低減	10月25日	□ 新規 ■ 継続（令和3年3月より）	金庫職員用備蓄品	賞味期限が残り1～2年程度のレトルト食品を神奈川県や川崎市のフードバンクへ寄贈。寄贈品は、社会福祉協議会などを通じて、必要とされる方々に随時配布される予定です。
		環境負荷低減への取組み	通年	□ 新規 ■ 継続（令和2年9月より）	本部・営業店	引続き封筒類・各種帳票類を環境配慮型の資材に切替えます。
		プラごみ削減への取組み	通年	□ 新規 ■ 継続（令和3年1月より）	本部・営業店	役職員のプラごみ削減への意識を高めるため、ごみの分別回収ボックスを全店舗に設置し、プラごみの分別に取り組みます。
		オフィス照明LED化	通年	□ 新規 ■ 継続（令和3年9月より）	本部・営業店	オフィス照明のLED化を進めます。
		省エネルギー設備投資に係る各種利子補給金の普及促進及び申請支援	通年	□ 新規 ■ 継続（令和3年より）	営業店	経済産業省による「省エネルギー設備投資利子補給金」、環境省による「地域脱炭素融資促進利子補給事業の利子補給金」の指定金融機関となり、CO ₂ 削減に資する設備の導入支援を実施します。
		省エネルギー診断および再生可能エネルギー電力導入支援	通年	□ 新規 ■ 継続（令和3年より）	営業店	行政等の外部支援機関と連携して、省エネルギー診断や再生可能エネルギー電力の導入提案を行います。
		再生可能エネルギー由来の電力プランへの切替え	通年	□ 新規 ■ 継続（令和3年より）	営業店	高圧電力を使用する営業店の使用電力を再生可能由来のプランに切り替え、CO ₂ 排出量を削減します。
		CO ₂ 削減に向けた排出量の可視化支援	通年	■ 新規 □ 継続（平成 年より）	営業店	外部支援機関と連携し、CO ₂ 削減に向けた排出量の可視化支援を行います。
フードドライブによる食品等のロス削減	4月	■ 新規 □ 継続（平成 年より）	本部・営業店	オフィスや家庭にある未使用の食品等を集め、子どもがいる家庭に配布を行います。		

令和5年度 地球温暖化対策の取組予定

	団体名	事業の名称	実施月日	新規継続区分	実施場所	事業概要
3	JFEスチール株式会社	製造プロセスにおける先進技術の導入による省エネルギーの推進	令和5年度	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続（平成 年より）	東日本製鉄所（京浜地区）	生産動向・電力需給見直しを見極め、有効な取組みを実施
		節電対策の推進	令和5年度	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続（平成 年より）	東日本製鉄所（京浜地区）	継続的に有効な節電対策を実施 ・クールビズ期間の拡大 ・廊下の消灯 ・空調温度の適正化 ・昼休みの消灯・OA機器停止
4	JFEブラリソース株式会社	容器包装プラスチックのリサイクル	通年	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続（平成12年より）	全社	容器包装リサイクル制度に則り、各自治体から容器包装プラスチックを受け取り、コークス炉化学原料、材料リサイクルを行い、再資源化する。材料リサイクル製品の「NFボード®」は、低CO2川崎ブランドに選定されると共に、川崎メカニズム認証も取得している。
		リサイクルプロセスの効率化による省エネルギーの推進	通年	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続（平成12年より）	全社	容器包装プラスチック処理プロセスの効率化により、電気、COガス、蒸気、化石燃料、用水の削減を図り、省エネルギーを推進する。
		クールビズウォームビズの実施	クールビズ(5月～10月) ウォームビズ(12月～3月)	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続（平成21年より）	全社	クールビズでは空調の室温を原則28度、ウォームビズでは20度以下とすることを継続し、節電に努める。
		事務所節電の実施	通年	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続（平成21年より）	事務所	昼休みの全消灯、必要時以外の消灯により事務所の節電に努める。
		工場見学を受け入れ	通年	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続（平成12年より）	全社	見学者を受け入れ、当社の事業内容を紹介すると共に、容器包装プラスチックリサイクルについて理解頂き、資源循環、環境保全の大切さを啓発していく。
		グリーン電力証書	通年	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続（平成27年より）	全社	グリーン電力証書を購入し、CO2削減に貢献する。 バイオマス発電による電力20,000kwhを購入する。
		工場照明のLED化	通年	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続（平成29年より）	工場	工場内照明、工場周りの照明のLED化により、電力削減を図る。
5	スナイフバレー合同会社	川崎の海について、FMヨコハマでラジオ出演	6月22日、26日、27日、29日	<input checked="" type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 継続（平成 年より）	川崎市環境総合研究所	川崎市環境総合研究所と連携事業で取り組んでいる、東扇島公園人工海浜での水中環境調査について、FMヨコハマの番組内で発信し、市民に海の環境に興味を持ってもらえるように働きかけた。
6	東京ガスネットワーク株式会社	●令和4年とほぼ同じ内容で実施の予定。	通年	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続（平成 年より）		
7	東京電力パワーグリッド株式会社	・イベント参加 多摩区エコフェスタ	8月4日	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続	Anker フロントタウン生田	・手回し発電機やおもちゃの発電機を使用した発電体験を実施 ・模型を用いて、尾瀬のスクリーンをバックに写真が撮れる「木道キッド」を展示 (東京電力は、尾瀬国立公園の約4割の土地を所有しており、長年にわたり自然保護活動に取り組んでいます)
		・イベント参加 夏の環境教室	8月8日	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続	かわさきエコ暮らし未来館	・手回し発電機やおもちゃの発電機を使用した発電体験を実施
		・イベント参加 かわさきSDGsパートナーイベント	10月28日 29日	<input checked="" type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 継続	NEC玉川事業所敷地内	・手回し発電機やおもちゃの発電機を使用した発電体験を実施 ・模型を用いて、尾瀬のスクリーンをバックに写真が撮れる「木道キッド」を展示 (東京電力は、尾瀬国立公園の約4割の土地を所有しており、長年にわたり自然保護活動に取り組んでいます)
		・イベント参加 脱炭素アクションみそのくち広場	11月頃	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続	武蔵溝ノ口連絡通路	・手回し発電機やおもちゃの発電機を使用した発電体験を実施
		・イベント参加 川崎国際環境技術展	11月頃	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続	カルッツ川崎	・2020年度、2021年度はオンラインで参加 ・CNにつながる取組として、蓄電池LCMを紹介 ※LCMとは・・・ライフサイクルマネジメント
		・イベント参加 知ろう！学ぼう！かわさき企業市民交流Day	11月23日	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続	川崎ルフロン	・手回し発電機やおもちゃの発電機を使用した発電体験を実施
		・事務所の環境対策	通年	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続	事務所建物（市内5事業所）	・クール（ウォーム）ビズ（夏：6/1～9/30 冬：12/1～3/31） ・照明（LED化、間引き、昼休み消灯） ・空調温度適正運転等 ・ノー残業デー設定（毎週水曜日） ・ゴミの分別 ・節水
		・EVの普及促進	通年	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続	川崎支社	・EV100へ加盟 2030年までに業務車両のEV化100%を目標（中間目標：2025年までに業務車両の50%EV化）

令和5年度 地球温暖化対策の取組予定

	団体名	事業の名称	実施月日	新規継続区分	実施場所	事業概要
8	日本電気株式会社 玉川事業場	9号館スマートビル化推進	通年	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続（平成24年より）	玉川事業場	9号館を設備リニューアルに併せてスマートビル化構築実施。導入した設備を継続運用。 ・高効率受電設備の更新 ・Low-Eガラス ・外壁遮熱塗料による断熱強化 ・太陽光発電の創エネルギー設備
		照明LED化	通年	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続	玉川事業場	事業場LED化 ・約56386灯の蛍光灯をLED化（累積）
		節電対策の推進	通年	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続	玉川事業場	①空調・熱源の省エネチューニング改善 ・空調機チューニング 温度・運転時間・間引き運転見直し OAC空調・VAV制御調整 ・冷凍機設定温度変更 ②チラー/ターボ冷凍機（熱源設備）運用改善 ・送水温度変更などによる運用最適化 ③ベース照明の省エネ ・照明間引き ④エレベータ運転台数削減
		高効率空調機への更新	通年	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続	玉川事業場	空調機を高効率空調機へ更新
		変電設備更新及び再編	通年	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続	玉川事業場	・54号館の変電設備更新（高効率トランス導入） ・40・50号館変電設備更新及び統合化
		省エネ節電啓発活動	通年	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続	玉川事業場	①クールビズ・ウォームビズ（通年） ②省エネ委員会開催（1回/年）による情報展開 ③省エネ月間イベント開催（パネル展示）
		空気圧縮機の更新	通年	<input checked="" type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 継続	玉川事業場	空気圧縮機を使用実績に合わせ能力縮小更新
9	富士通株式会社	再生可能エネルギーによる電力供給	令和5年度中	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続（令和3年より）	川崎工場全域 富士通クリニック	川崎工場と富士通クリニックに供給されている電力を再生可能エネルギー100%の電力に切り替え実施
		特高更新による、省エネ型高圧トランスの導入	令和5年度中	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続	川崎工場 特高	本館の老朽化対策で実施する高圧トランス更新の際に、トップランナー変圧器を導入する。
		空調機更新による効率化	令和5年度中	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続（令和4年より）	川崎工場 本館 5階、19階	設置から約30年が経過する空調機の更新工事を実施することで機器効率の向上を図る。 ※末長分室の空調機更新については、令和5年度にて判断する。
		オフィスの照明LED化	令和5年度中	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続（平成28年より）	川崎工場 本館 1階	オフィスの照明のLED化を推進（テクノロジーホール、クリニック）。
		給湯生成方式の変更ガス→電気	令和5年度中	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続（令和4年より）	富士通クリニック	厨房で使用する温水の生成方法を蒸気（ガス）から電気温水器に変更。
		海洋プラスチックごみ問題への取組み	令和5年度中	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続（令和元年より）	川崎工場	社内喫茶エリアでのプラスチック製品の使用廃止。 コンビニのレジ袋を撤廃。
		栗木山王山緑地保全活動	令和5年6月 令和5年11月	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続（平成24年より）	栗木山王山特別緑地保全地区	川崎市が保有する栗木山王山特別緑地保全地区（麻生区）において、保全管理計画の策定から川崎市と協働で管理し、荒廃林の手入れ作業を実施。
		体験の機会の場（環境出前授業）	令和5年度中	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続（平成25年より）	市内小学校	「環境教育等による環境保全の取組の促進に関する法律」に基づき、環境教育等に取り組み事業所として「環境教育等に係る体験の機会の場」に2013年から認定。 「オンライン授業①」と「川崎工場の見学②」を組み合わせた授業を実施を検討。 ①オンライン授業では「省エネに関する工夫」について、富士通社員と交流し、世界の環境問題改善に向けた企業の省エネの取り組みを学んでいたと予定。 ②工場見学の際には、最先端の技術を体験いただくとともに富士通の環境活動の取り組みを紹介。また、富士通で働く従業員と接し、仕事における苦労、やりがいを知る機会の提供。
カーボンチャレンジ等々力	令和5年度中	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続（平成21年より）	等々力緑地	川崎市、川崎フロンターレ、富士通川崎工場の3者が合同で二酸化炭素排出量を減らすための活動。 等々力競技場で行われる川崎フロンターレホームゲームにて、飲食売場で使用される容器にリユース食器を導入。 例年実施していたSDGsランドでのブース提供を予定していたが、イベント中止のため、開催に至らず。		

令和5年度 地球温暖化対策の取組予定

	団体名	事業の名称	実施月日	新規継続区分	実施場所	事業概要
		かわさきプラスチック循環プロジェクト	令和5年度中	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続（令和4年より）	川崎工場	「使用済みペットボトルの水平リサイクル推進」プラスチックの資源循環に向けた取り組みの一環として、気候変動（脱炭素）、資源循環に向けた従業員の行動変容を促進するため、「かわさきプラスチック循環プロジェクト」に参画。当社では従来より富士通グループ環境行動計画の一環として、気候変動（脱炭素）や資源循環に取り組んできたが、川崎工場から排出されるペットボトルの回収スキームを見直すことで、新たな化石由来原料を依存せずに何度もペットボトルとして循環できる水平リサイクルの仕組みを導入。
10	ベトリファインテクノロジー株式会社	ペットボトルリサイクル事業	平成20年～	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続（平成20年より）	当社構内	使用済みPETボトルを対象にしたケミカルリサイクルを用い、ボトルtoボトルを実現させることで、二酸化炭素濃度の上昇原因の一つとされる化石燃料消費と、それに伴う二酸化炭素排出の削減に寄与しています。また、循環可能なPET樹脂を生み出すことで、プラスチックゴミの削減にも貢献しています。
11	ヤマト運輸株式会社	節電対策	通年	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続	営業所	就業前、昼休み時間中のオフィス内の照明の消灯 使用していない会議室等、不要な照明の消灯 クールビズでは空調の室温を原則28度とすることで節電に努める。
		節電対策	11月以降	<input checked="" type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 継続	営業所	高津営業所の屋上に太陽光パネルを設置予定。（2023年11月予定）自家消費することで再エネ利用の向上を目指します。
		Co2削減	通年	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続	営業所	弊社の機密文書リサイクルサービスを利用。未開封処理を行うためシュレッダー処理とは違い、紙の繊維を寸断しないためCO2削減につなげる。
12	株式会社 横浜銀行	クールビズ ウォームビズの実施	クールビズ(5月～9月) ウォームビズ(12月～3月)	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続（平成 年より）	全社	クールビズでは空調の室温を原則28度、ウォームビズでは22度以下とすることを継続し、節電に努める。
		川崎市地域エネルギー会社設立への協力	通年	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続（平成 年より）	本部・営業店	川崎市が計画している地域エネルギー会社設立について、金融機関パートナーとして参画を予定。
		取引先の脱炭素への取り組み支援	通年	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続（平成 年より）	営業店	川崎市が発行している脱炭素ガイドブックについて、作成段階から当行グループで協力。ガイドブックの取引先への配布による周知とともに、サステナブルファイナンスによる取引先支援。
13	株式会社 渡辺土木	グリーンカーテンの設置	6月～9月	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続（平成31年より）	本社社屋	本社社屋南側にゴーヤを植え、社屋内への日照を阻害することによりエアコン設定温度上げ消費電力の低減化を行う。
		生ゴミの堆肥化	通年	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続（令和4年より）	本社	生ゴミ処理機を導入し、本社で発生する生ゴミを堆肥化し使用することにより処分に出す生ゴミを抑制している。また本年度より地域の青果店で発生した残渣を引き取り、本社で発生した生ゴミと合わせて処理を行う。

令和5年度 地球温暖化対策の取組予定

	団体名	事業の名称	実施月日	新規継続区分	実施場所	事業概要
14	麻生区クールアース推進委員会	夏休み環境イベント「ソーラーエコハウスを作ろう」	8月11日	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続（平成25年より）	麻生区役所	ソーラーエコハウスの工作から、太陽光発電と蓄電について学び、自然エネルギーについて考える小学生向けの夏休み環境イベント。
		おひさまと遊ぼう	9月16日	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続（平成14年より）	麻生区役所（「あさお子育てフェスタ」に出展）	子育てフェスタに参加する親子に、ソーラークッカー、ソーラーカーなど、太陽光を動力とする器具を実演して、自然エネルギーについて説明する機会とする。
		麻生区民まつり	10月8日	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続（平成15年より）	麻生区役所	ソーラークッカー等の展示、ソーラーおもちゃから、太陽光エネルギーを動力にすることについて体験してもらう。
		自然エネルギー学校	11月25日	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続（平成19年より）	麻生区役所	地球温暖化対策をテーマとした講演会やイベント、一時休止した活動を再開する。
		麻生区役所太陽光発電設備設置20周年記念イベント	1月～2月	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続（平成14年より）	麻生市民館を予定	麻生区役所屋上の太陽光発電設備設置の周年記念イベントとして、地球温暖化に関する講演会や記念イベントを企画、実施する。
		麻生区役所太陽光発電設備設置の見学会の実施	随時	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続（平成14年より）	麻生区役所屋上	麻生区役所屋上の太陽光発電設備の見学を通して、設置の経緯や太陽光発電設備について学び、地球温暖化対策を考える機会とする。これまで行ってきた活動を項目として挙げた。
		出前授業	随時	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続（平成16年より）	麻生区内の保育園、小学校等	区内保育園、小学校への出前授業
		出前環境講座	随時	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続（平成30年より）	区内各所	麻生区民および市民活動団体向けの出前講座
15	IDEA NPO法人アジア起業家村推進機構	AI事業推進による事業効率化推進事業	5月10日、11日、12日	<input checked="" type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 継続（平成 年より）	東京ビッグサイト	IDEAが育成してきたベトナム起業家のAI技術を川崎市内外企業へ展示会出展により普及を図り、その普及により業務効率化によるエネルギー削減を図り地球温暖化対策を図る。
		AI事業推進による事業効率化推進事業	年間数回	<input checked="" type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 継続（平成 年より）	WEBセミナー	IDEAが育成してきたベトナム起業家のAI技術を川崎市内外企業へWEBセミナー「AI入門研修セミナー」を開催し、その普及により業務効率化を図り、エネルギー削減に繋げて地球温暖化対策を図る。
		これからのIDEA NPO法人アジア起業家村推進機構会員のSDGs推進コラボレーション事業	11月15日～16日	<input checked="" type="checkbox"/> 継続（平成4年より）	カルッツ川崎	第16回川崎国際環境技術展（11月15日～16日）川崎ものづくりプラザ コーナにてこれからのIDEA会員SDGs コラボ企画事業を展示

令和5年度 地球温暖化対策の取組予定

	団体名	事業の名称	実施月日	新規継続区分	実施場所	事業概要
16	「エコシティたかつ」推進会議	「エコシティたかつ」推進事業	令和5年度	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続（平成21年より）	高津区内各所	「エコシティたかつ推進方針」に基づき、市民団体、企業、市立小学校等と協働で環境まちづくりの取組を総合的に展開する。動画を活用した学校ヒートアップにおける環境学習支援、市制100周年&緑化フェアを見据えた流域治水ガーデンの整備推進、健全な森づくりを体験する「たかつ水と緑の探検隊」などを実施予定。環境・防災意識の醸成に向けて、流域思考に基づく3次元データを活用した啓発活動を行う予定。
		「たちばな農のあるまちづくり」推進事業	5月21日、7月16日、9月17日、11月19日、1月21日、3月17日	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続（平成21年より）	久本薬医門公園	「高津さんの市」では、農家による地元野菜の直接販売と通じて、地産地消についての周知を行う。また、開催チラシや会場等でエコバックの持参及び使用を周知する。
		花と緑のたかつ推進事業	令和5年度	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続（平成24年より）	高津区役所周辺他	区内各所にコンテナガーデンや花壇を設置し、その維持・管理を区民と協働で行い、花と緑のまちづくりを推進する。
17	かわさき市民共同おひさまプロジェクト	自然エネルギー設備の設置に係る相談助言事業	随時	<input checked="" type="checkbox"/> 継続（平成28年より）	川崎市内	屋根置ききの太陽光発電の設置、特に既存住宅への設置を促すためにリーフレットを作成し、相談助言に繋げる活動を行う。ソーラーシェアリング（営農型太陽光発電）設置を促進するための活動を行う。
		おひさま1号機、2号機対応	随時	<input checked="" type="checkbox"/> 継続（平成20年より）	①川崎市国際交流センター ②川崎フロンターレ麻生クラブハウス	1号機の発電量測定、2号機太陽熱温水器の集熱量測定を継続し、それぞれの使用者の適切な維持管理に資する活動を行う。測定結果については情報発信を行う。
		各種イベントにおける普及啓発事業	①7月9日 ②9月30日	<input checked="" type="checkbox"/> 継続（平成20年より）	川崎市内	①インターナショナル・フェスティバル、②おひさまフェス×星空上映会inかわさき等に参加し、自然エネルギーの普及活動を行う。
		情報発信事業	2月	<input checked="" type="checkbox"/> 継続（平成20年より）	川崎市内	2023年度の活動をまとめたプロジェクトレターNo.21を発行し会員及びこれまでの自然エネルギー事業への協力者に送付する。作成したレターの電子ファイルを当プロジェクトのホームページに掲載し情報発信を行う。
		行政や社会への提案・提言事業	通年	<input checked="" type="checkbox"/> 継続（令和2年より）		川崎市の脱炭素戦略「かわさきカーボンゼロチャレンジ2050」、「かわさきSDGsパートナー」及び「脱炭素アクションみそのち」の賛同団体として、自然エネルギーに関する計画・施策に対して提案・提言を行う。再生可能エネルギーの最新情報を共有するための学習会等を開催する。
		関連団体との連携した活動	通年	<input checked="" type="checkbox"/> 継続（平成28年より）	川崎市内、他	自然エネルギー普及の目的を共有する「川崎地域エネルギー市民協議会」と「NPO法人市民電力連絡会」に引き続き参加する。CCかわさきエコ会議理事会に参加し、参加団体と情報交換を行う。川崎地域エネルギー市民協議会の構成団体として「川崎市に対して再生可能エネルギー推進のための政策提言活動を行っていく」活動に参画する。
		個別事業の支援	通年	<input checked="" type="checkbox"/> 継続（令和元年より）	川崎市内	麻生市民館・図書館太陽光発電所（川崎市の公共施設の屋根貸しによる太陽光発電設置事業）を運営している川崎地域エネルギー市民協議会/川崎地域エネルギー株式会社と連携し、本設備に関する様々な支援活動を行う。

令和5年度 地球温暖化対策の取組予定

団体名	事業の名称	実施月日	新規継続区分	実施場所	事業概要	
18 グリーンコンシューマー普及会議	エコショッピング・クッキングの推進	通年	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続（平成15年より）	高津市民館、多摩市民館	普及啓発活動を企画し、「春休み自由研究」「夏休み自由研究」「多摩エコフェスタ」「出前講座」「暮らしのセミナー」等にて子ども対象で行い、他に各種イベントを通して実施予定。	
	学校へ出前授業	通年	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 継続（平成15年より）	市内小学校等 南加瀬小実施	「地球温暖化」「衣食住・食品ロス・エシカル消費」「旬と地産地消」「食べ物めぐり旅」「もったいない鬼ごっこ」「環境ラベルゲーム」「エコ暮らしでストップ地球温暖化」「SDGsと衣食住」「クイズで学ぶSDGsと食品ロスと水」「エコ暮らしどころく」等のpptを使い授業を実施予定。	
	国産木材を使ったプレート作り		<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 継続（令和3年より）	こども文化センター、イベント等	国産材や木の話とそれが脱炭素とSDGsへつながり、森林の役割、また自分たちにもできることがあることへの気づきの普及活動を実施予定。	
	プレーメン商店街との協働、1店1エコ運動の推進、夏休み自由研究、消費生活展、講演会開催、川崎女性連合との協働、環境フォーラム等、各種イベントに参加		<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 継続（平成14年より）	各市民館等	行政や市民館の自主学級・商店街等と協働し、自主企画などグリーンコンシューマーの普及活動を展開する。WEB参加、講演会実施。「環境ラベルについて知ろう」エシカル消費講座、「ムダにならない冷蔵庫収納、&食品保存」「Mottainai!パーティ、FSC木材を使った工作」「国産材や木の話&国産材使用の工作」等のpptを使用する。	
	DVDでエシカル消費等を学ぶティータム		<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 継続（平成 年より）	高津市民館	エシカル消費とは、地球環境や人、社会、地域に配慮した消費行動。1時間ほど映像を見ながら楽しく学ぶ試みをする。	
	学校給食用の牛乳パックのリサイクル推進		<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 継続（平成 年より）	市内小学校	以前はリサイクルされていた牛乳パックが現在の焼却の処理から、再びリサイクルの輪に戻し、3Rと脱炭素社会の取り組みを推奨する。実践する学校の取り組みも出てきたので、広げていきたい。共同作成した「給食用牛乳パックでのリサイクルを進めよう」のリーフレットを各学校に紹介し、現在数校が実施。今年は更なる展開をしていきたい。	
	オンライン講座		<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 継続（令和3年より）	高津市民館	遠距離や場所が異なっても同時に話し合いや、講座受講等できる広がりのある中で、このプログラムの普及を実施していきたい。	
	マイバッグづくり		<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 継続（平成12年より）	各種イベント等	マイバッグに絵柄を描いて、買い物にマイバッグ持参を呼びかける。現在、マイバッグ持参は子どもたちにも社会にも浸透している。この約20年の普及活動の成果も感じている。	
新たな試み、学びの場等		<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 継続（令和5年より）	高津子文、上作延子文にて実施。住吉子文、大戸子文、西加瀬子文でも実施予定。	★寺子屋、こども文化センター、町内会向けの講座をセンターに登録し、講座開始予定。★企業より、一般市民の脱炭素を促進するための新規事業として、CFPの見える化のアプリを検討中なので、消費者目線の意見を聞きたいとの打診あり、参加の方向で発展させたい。 ★今年度は脱炭素社会に向けた普及活動がさらに活発になる予想。		
19 川崎市地域女性連絡協議会	ダンボールコンポストの利用推進	通年	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続（平成23 年より）	教育文化会館内川崎市地域女性連絡協議会事務所	生ごみ堆肥化「ダンボールコンポスト」によりゴミの減量をする。コンポストに必要な基材、段ボール箱などの取り扱いをしている。	
	廃食油回収と石けん利用推進	通年	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続（平成 11年より）	同上	・川崎市民石けんプラントが製造している安心安全な「きなりっこ」の普及啓発 ・回収した廃食油で石けん作り 各自過程で実施	
	フードドライブで食品ロス削減	通年、集まった段階で寄付	<input checked="" type="checkbox"/> 継続（令和4年より）	同上	家庭に眠っている食品を集め、減量推進課からフードバンクへ寄付	
	環境問題、SDGs研修会を実施	講演会候補として 1. 極地研究所（極地の環境変化について） 2. エシカル協会よりエシカルとは 3. 川崎市の木材使用について		<input checked="" type="checkbox"/> 継続（平成11年より）	同上	令和5年度も川崎市の関係部署、または専門家を招いて研修大人だけでなく、親子や小学生も含めたカードゲームを使った研修も候補としている
	地域イベントへの参加	1. 市民祭り開催時期 2. 9月30日又は10月1日		<input checked="" type="checkbox"/> 継続（平成11年より）	同上	1. 川崎市民祭り（環境局より脱炭素グッズを受付で配布したい） 2. イトーヨーカドー川崎港町店にて子育て世代をターゲットとした「ままフェス」参加 温暖化防止活動推進センタープロジェクト省エネグループ・おもしろ科学たんけん工房に参加

令和5年度 地球温暖化対策の取組予定

	団体名	事業の名称	実施月日	新規継続区分	実施場所	事業概要
20	(一社) 神奈川県トラック協会	ドライバー向けエコドライブ講習会	年6回	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 (平成12年より)	Y-CC 川崎マリエン 他	一般道を実際に走行し、省エネ・安全・燃料コスト削減等の効果が見込まれ、更には地球温暖化の要因といわれているCO2の削減効果も期待されるエコドライブを実車にて実施する。
		エコドライブリーダー養成講座	年間2回	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 (平成24年より)	川崎マリエン 他	社内のエコドライブ活動を推進する人材の育成を図るため、かながわエコドライブ推進協議会と共催する。
		日常点検講習	年間4回	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 (平成27年より)	県内4カ所 (川崎市外)	エコドライブに必要な日常行う車両の維持管理方法並びに環境に配慮した車両の使用方法を習得するため開催する。(神奈川県内の会員事業者対象)
		エコドライブ診断器 (セーフティナビ) の貸出し	通年	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続		エコドライブ診断器 (セーフティナビ) を会員事業者に貸出し、広範的にエコドライブの意識を浸透させる。
		グリーン経営認証制度促進助成事業	6月～2月	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続		グリーン経営認証制度の普及拡大を図るため、新規認証取得事業者・更新事業者を対象に係る費用の一部を助成する。
		車内ゴミのポイ捨て防止啓発の推進	通年	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続		運転者のモラルの向上並びにグリーン経営認証取得に係る評価項目の従業員に対する環境教育を推進するため、車内ゴミのポイ捨て防止に係るチラシを各種研修会等にて会員事業者に配布する。
		キー抜きロープの普及促進	通年	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続		アイドリング・ストップを推進するため、会員事業者に配布するとともに、当協会の環境への取組を広範的にPRするため、啓発物として配布する。
		アイドリングストップ支援機器等の助成	6月～2月	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続		アイドリング・ストップの推進に有効な蓄熱マット・蓄冷クーラー等の普及拡大を図るため、会員事業者に対して導入費用の一部を助成する。
		タイヤゲージの普及促進	通年	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続		燃料消費量及びCO2排出量の削減に繋がる車両の適正な整備を推進するため、タイヤの空気圧を測定するタイヤゲージをモニター形式により会員事業者に配布する。
21	(一社) 川崎建設業協会	(一社) 川崎建設業協会	5月	<input checked="" type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 継続 (平成 年より)	(一社) 川崎建設業協会 事務局	事務所内・廊下等照明消灯を心がける
22	川崎工業振興倶楽部	会員企業への広報活動	通年	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 (平成23年より)	川崎工業振興倶楽部 ホームページ	会員企業にとって「有効で有意義な情報」を入手の都度、倶楽部のホームページに掲載し、情報提供による広報啓蒙活動を実施する。Ex「ccかわさきエコちゃんすメールマガジン」「スマートライフスタイル大賞受賞会員の紹介」等
		事務所内エコ活動	通年	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 (平成24年より)	川崎工業振興倶楽部 事務室	倶楽部事務所は「川崎市産業振興会館」にあり事務局長のみ勤務している。省エネに関しては同会館の方針に従い「照明・空調・PC」の節電を実践する。省資源に関しては事務用品類の購入の際「エコ製品」を対象に選定する。
		「かわさきカーボンゼロチャレンジ2050」	通年	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 (令和 2年より)	川崎工業振興倶楽部 事務室	「かわさきカーボンゼロチャレンジ2050」活動に賛同を継続し、事務室内にロゴマークを掲示し事務室の省エネを推進する。

令和5年度 地球温暖化対策の取組予定

団体名	事業の名称	実施月日	新規継続区分	実施場所	事業概要
23 川崎商工会議所	夏の省エネルギー対策	5月1日～10月31日	□ 新規 ■ 継続	所内	所内冷房の設定温度を上げ、職員はノーネクタイ・ノー上着の軽装（クールビズ）で執務。
	事務所内のエネルギー対策	通年	□ 新規 ■ 継続	所内 他	・始業前・昼休み中に事務所内の照明消灯 ・エレベーターホール、トイレ、事務所内の一部にLED照明
	ノー残業デイの実施	通年	□ 新規 ■ 継続	所内	毎週水曜日をノー残業デイとし、原則18時までに退所する。
	当会館「川崎フロンティアビル」の環境性能	平成24年7月竣工	□ 新規 ■ 継続（平成24年より）	川崎フロンティアビル	「川崎フロンティアビル」はCASBEE（建築環境総合性能評価システム）で、最高評価のSクラス認証を受けている。 ※当会館は鹿島建設と当所が所有
	川崎国際環境技術展 実行委員会への参画	平成18年度より	□ 新規 ■ 継続（第1回 同実行委員会より）	第1～10回「とどろきアリーナ」 第11回～「カルッツかわさき」 第13回～オンライン開催 第15回～「カルッツかわさき」	同展示会は、川崎市が有する優れた環境技術や先進的な取組を広く情報発信するとともに、販路の開拓や拡大につながるビジネスマッチングの創出を目的に開催。 ・当所副会頭が副実行委員長へ就任 ・同技術展 企画部会は当所企画広報部が対応 ・前年同様に協賛予定。 ・出展者募集・来場者案内について、当所会報誌やメールマガジンにて周知を行う。
	川崎温暖化対策推進会議（CC川崎エコ会議）への参画	平成20年度より	□ 新規 ■ 継続（平成20年より）	川崎市	CCかわさき（カーボン・チャレンジ川崎エコ戦略）を推進するため、市民や事業者など川崎市の多様な主体が一丸となって取組む推進ネットワーク。 ・当所副会頭が理事へ就任 ・同会議 運営委員会は当所企画広報部が対応 ・同会議を通して、地球温暖化対策のための国民運動「COOL CHOISE」への賛同している。「COOL CHOISE」に関するセミナー開催への協力依頼等があれば、調整を行う。
	川崎CNブランド等推進協議会への参画	平成28年度より	□ 新規 ■ 継続（平成29年より）	川崎市	2023年度より、名称を「低CO2川崎ブランド」から「川崎CNブランド」へ改め実施する。 同協議会では、川崎発の優れた製品・技術等を「川崎CNブランド」として認定するとともに、特に優れた製品・技術等を「川崎CNブランド大賞」として選定する。 ・当所副会頭が委員へ就任 ・同協議会 運営推進部会は当所企画広報部が対応 ・同ブランドの募集・結果について、当所会報誌やメールマガジンにて周知を行う。
	中小企業のSDGs取組支援	通年	□ 新規 ■ 継続	所内	・当所主催のSDGsに関するセミナーを開催。SDGsの取り組み事例を広く紹介するとともに、「かわさきSDGsパートナー」制度への登録促進を行う。 ・「川崎市SDGsプラットフォーム」のコアメンバーとして当所中小企業振興部部長が参画。
	環境対策活動	通年	□ 新規 ■ 継続	所内	3Rの推進（ごみの軽量化・分別徹底による再資源化等） ・会議時飲物の紙バック化 ・会議案内等の電子化
24 一般社団法人日本フロンチャイブチェーン協会	低炭素社会実現に向けた気候変動キャンペーン「Fun to Share」への参加	平成26年4月より継続して実施	□ 新規 ■ 継続（平成26年より）	会員企業の店舗	環境省「Fun to Share」に参加し低炭素社会の実現のため、LED照明等の高効率照明、インバータ式冷凍・冷蔵、空調機器等の省エネ機器、太陽光発電装置等の自然エネルギー等の導入を進めることにより省エネルギー対策に取組んでいる。
	クールビズの取組み	一律の実施期間の設定を行わず、個々の事情に応じて実施	□ 新規 ■ 継続（平成25年より）	会員企業の店舗	地球温暖化防止及び節電対策に貢献するため、会員企業に対してクールビズの取組みを呼び掛けた。会員企業では”店内を適正温度に設定”、“ユニフォームの軽装化”等、各企業がそれぞれの取組みを行っている。
	ウォームビズの取組み	一律の実施期間の設定を行わず、個々の事情に応じて実施	□ 新規 ■ 継続（平成24年より）	会員企業の店舗	地球温暖化防止及び節電対策に貢献するため、会員企業に対してウォームビズの取組みを呼び掛けた。会員企業では”店内を適正温度に設定”するとともに、お客様に対して”あたたかい商品”の販売を行う等、各企業がそれぞれの取組みを行う予定。
	脱炭素につながる新しい豊かな暮らしを創る国民運動・官民連携協議会（環境省）への参加	—	□ 新規 ■ 継続（令和4年より）	—	2050年カーボンニュートラル及び2030年度削減目標の実現に向けて、官民が連携し国民・消費者の新しい暮らしを後押しする。

令和5年度 地球温暖化対策の取組予定

	団体名	事業の名称	実施月日	新規継続区分	実施場所	事業概要
25	学校法人聖マリアンナ医科大学	蒸気のドレイン回収率管理	通年	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続(平成23年より)	キャンパス全体	機器点検の他、発生蒸気量と還水のドレイン回収率を管理することで、蒸気、ドレイン還水の漏れを判断し、漏れ箇所を修理することでエネルギーロスの削減を図る。
		リサイクル廃棄物容器の使用	通年	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続(令和3年より)	入院棟、病院本館	病院から排出する感染性廃棄物容器を使い捨て容器(焼却処分)からリサイクル容器に切替え、CO2の発生抑制を図る。
		熱源機器の取替	通年	<input checked="" type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 継続	東館	老朽化した熱源機器(チラー)を更新する。
26	学校法人 日本女子大学	事務局クールビズ	5月～10月	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続(平成24年より)	西生田キャンパス	業務効率の向上と省エネルギーの徹底を図るため、実施を行う。
		低炭素電力の導入	通年	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続(令和3年より)	西生田キャンパス	電力契約に低炭素電力を導入し、CO2排出量低減に貢献する。
		葦簀による遮熱	5月～10月	<input checked="" type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 継続(平成 年より)	西生田キャンパス	中高校舎窓枠へ既に設置しているすだれに加えて枠外へ葦簀を設置。遮熱によりコロナ対策の換気確保しつつ夏季の消費電力低減を図る。
27	公益財団法人川崎市公園緑地協会	節電対策	通年	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続(平成 年より)	公園緑地協会事務所他	建物内の事務所以外の照明を消灯し、各施設及び事業所も節電を図る。事務所の一部に緑のカーテン(ゴーヤの植栽30m×4m)を設置して室内温度の低減を図る。
		地球温暖化対策		<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続(平成 年より)		公園内花壇への草花植付の拡大及び公園緑地での花と緑の講習会の実施、屋上・壁面緑化、生垣づくり等、緑化推進を図る。「いまこそ!みどりのカーテン大作戦(ゴーヤ)」として緑の活動団体等を対象にゴーヤの苗を提供します。
		思い出記念樹「樹繁(きすな)」		<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続(平成 年より)		市民150万本植樹運動として思い出記念樹「樹繁(きすな)」の配布を行い緑の普及啓発を図る。
28	川崎市地球温暖化防止活動推進センター	年間を通しての環境に関する展示及び講座の開催	通年	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続(平成23年より)	CCかわさき交流コーナー他	脱炭素等も意識し、3カ月に一度テーマ(エシカル消費/気候危機と防災/脱炭素/断熱と住)を変えた普及啓発展示と関連講座を実施し、小学生向け講座「夏休み自由研究週間～子ども環境ワークショップ～」や「春休みエコ体験教室」等も実施する方向で検討。また、コロナ禍でリアル開催を見送っていた市内の環境への取組を行っている事業者等を見学するバスツアー「エコぶらっとC ³ 」についても令和5年度からは年2回の開催を再開する予定。
		第11回かわさき環境フォーラム開催	12月10日	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続(平成25年より)	高津市民館	令和5年度に11年目を迎える年に一度の環境イベントとして、市民団体・事業者・行政各部署の協力を得て、引き続き開催する予定。(場所:高津市民館)
		脱炭素に向けた普及啓発イベントへの参加	通年	<input checked="" type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 ※各イベントによる	JR溝口駅他	「脱炭素アクションみそのくち広場」をはじめ、今年度も普及啓発イベントに積極的に参加する予定。また、令和5年度も各区や川崎市地球温暖化防止活動推進員との連携を強化し、「脱炭素キャンペーン」を実施予定。
		広報紙やSNSを利用した普及啓発活動	通年	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続(平成23年より)	川崎市地球温暖化防止活動推進センター	広報紙(エコちゃんず通信 年4回発行)・メルマガ・instagram等を通して、地球温暖化等、環境や脱炭素に向けた情報発信を実施予定。情報発信については、若年層や主婦層等の発信源となりえる有効なグループへのアプローチに対しても、引き続き検討していく予定。
		学校向け環境出前授業の実施	通年	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続(平成23年より)	市内小学校等	川崎市地球温暖化防止活動推進員プロジェクトが中心となり、SDGsや脱炭素も踏まえ、地球温暖化や自然エネルギー、3R等についての出前授業を実施予定。また、令和4年度からは、プログラムの構成も再考し、各学校担当者がより理解しやすい内容であることを考慮した。
		小学生向け環境教材の制作	通年	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続(令和2年より)	市内小学校等	必要に応じ適宜改版等を実施予定。
		脱炭素に向けた中小企業支援「脱炭素経営 炭素の見える化事業」	通年	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続(令和4年より)	各企業等	昨年度から開始した川崎市内の中小企業の脱炭素経営を推進するため「炭素(CO ₂ 排出量)の見える化」事業の推進を引き続き実施予定。
		“親子エコ体験クラブ”の開催	通年	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続(令和4年より)	市内親子	昨年度に引き続き、令和5年度は年6回開催、18組の親子が参加予定。また、引き続きスタッフに子育て世代の川崎市地球温暖化防止活動推進員にも加わっていただき、当センターと推進員の協働事業としての連携も深めていく予定。

令和5年度 地球温暖化対策の取組予定

	団体名	事業の名称	実施月日	新規継続区分	実施場所	事業概要
29	独立行政法人環境再生保全機構	環境配慮のための実行計画の策定と実施	通年	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続（平成18年より）	執務室内	環境配慮のための実行計画として、以下のIからXの区分に該当する項目を定め、業務活動がエネルギー及び資源の有効利用を図るものとなるよう、役職員及び各部署で積極的に取り組む。用紙の使用量については、ペーパーレス化を一層推進するため、書類の電子化や電子決裁利用を促すよう尽力する。 I エネルギー（電気使用量の削減） II 省資源（用紙類の使用量削減） III 節水 IV 廃棄物の排出抑制、リサイクル、適正処理 V イベント等の実施における環境配慮 VI ワークライフバランスへの配慮 VII グリーン購入の推進 VIII 自動車利用の抑制等 IX 温室効果ガス排出量の把握 X 役職員に対する啓発及び社会貢献
		職員共用傘・エコバッグの利活用	通年	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続	職場内等	廃棄物削減、海洋プラスチック問題、リサイクルの推進の観点から、職員の忘れ傘を共有傘として活用することで新たなビニール傘購入を抑制する。また、職員からエコバッグ等を拠出（各種・サイズ）してもらい、近所のお店での買いもやコンビニでの昼食の弁当の買い出し等に利活用する。お店からはプラスチックバッグ等は受け取らないようにする。
		古着等のリサイクル	12月（予定）	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続	職場内等	職員の不要になった衣類や服飾雑貨、古本・CD、子供用おもちゃ等を持ち寄り、「ERCAリサイクル市」を開催して必要な職員へ譲る取組を行う。また、リサイクル市で残った衣類等を「古着deワクチン」へ寄付を行う。
		Cool Choiceの励行・啓発	通年	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続	職場内等	新しい生活様式、新たな業務環境を踏まえ、職員の環境における新たなエコスタイルを模索する。従来の期間を定めたクールビズ、ウォームビズの励行から、服装や冷暖房のみに限らず役職員が自ら判断し実践するCool Choiceの励行を行った。
		第16回川崎国際環境技術展 出展 予定	11月15日、16日（予定）	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続	ハイブリッド等	リアル催事、オンライン対応等を踏まえた新たな取組を模索し、当機構オリジナル展開案について実践する。出展企業等にも役に立つ企画を取り入れると共に、当機構の取組内容や活動（再生・保全）についても工夫を凝らし一過性で終わらないよう展開する。
30	国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構	グリーン調達に関する取り組み	通年	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続（平成13年より）	NEDO本部・支部	NEDOは、製品やサービスの購入に際し、できる限り環境への負荷の少ない物品等を優先して選ぶグリーン調達を進めています。また、グリーン調達を推進するため、「環境物品等の調達の推進を図るための方針」を毎年策定し公表しています。
		執務室の省エネルギー	通年	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続（平成23年より）	オフィス執務室内	・ 昼休み時間の全消灯 ・ 一斉退勤日の励行 ・ 照明機器のLED照明への切り替え
		空調利用の適正化、クールビズの推進	毎年5月～9月	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続（平成23年より）	オフィス執務室内	NEDO全体で空調利用の適正化およびクールビズ（5～9月）の励行に努めています。執務室内の室温について節電に努め、夏季はノーネクタイ、ノージャケット等の軽装を呼びかけています。また、NEDOの役職員のみならず来構者の方々へもご案内し、協力を呼び掛けています。
		クラウド・コンピューティングの導入	通年	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続（平成23年より）	オフィス執務室内	2010年度にクラウド・コンピューティングを導入し、機構内に設置していた専用のサーバー室を廃止するとともに、各職員のデスクトップPCをシンクライアントPCに置き換え、消費電力を大幅に削減しました。さらに、2015年度の情報基盤サービスの切り替えにより、ネットワーク機器、複合機の数削減し、OA系の電力量を約4割削減しました。
		紙の使用量削減	通年	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続（平成23年より）	オフィス執務室内	使用量の削減を目指して右記の事項を実施しています。2022年度は2013年度（実施計画における基準年度）比で紙の使用量を52%削減しました（重量比）。 ・ ペーパーレスによる会議・打ち合わせの徹底（ペーパーレス会議システム、ノートPCの活用等） ・ 両面印刷、両面コピー、複数ページ印刷の徹底 ・ 作成する資料の簡素化・電子化の徹底 ・ 電子決裁システムの導入
31	国立研究開発法人 農研機構・生研支援センター	「クールビズ」の実施	5月1日～9月30日	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続（平成 年より）	センター内	・ 軽装（ノーネクタイ、ノー上着）での執務 ・ 居室等の冷房温度の緩和
		省エネルギー対策	通年	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続（平成 年より）	センター内	・ 昼休み中、使用していない居室、会議室等の照明の消灯 ・ コピー機、プリンタの共有 ・ 夏期における勤務時間外の冷房使用取り止め ・ 日中、窓際の照明の消灯（新規）